

# かなざきひさの町政報告

[www.kanazaki-hisa.com](http://www.kanazaki-hisa.com)

## 上山口の皆さまへ

上山口間門地区に住み始めて40数年、家族共々、地域の方々に支えられております。そして、多くの皆さまの応援を得て、5期20年、町議会議員を続けることができました。

4月に改選でございますので、はじめとして、5期20年の活動報告をいたします。

まだまだ体力と気力に自信がございますので、これからも皆さまの代弁者として活動していき、地域に貢献する所存です。

皆さま方にはこれからも、地区の代表として捉えていただき、上山口のまちづくりに御提言、御意見をいただけたら幸いです。

かなざき ひさ



## 上山口の皆さまとご一緒した 5期20年の議員活動。

議員は町民の代弁者である、との姿勢を貫いてきました。皆さまと交流を深め、日々の問題点を把握することが、議員の大きな仕事です。

また、議会として採択した請願・陳情を、行政が棚上げ状態にしていることを許してはいけません。町民の願いが込められているからです。

まず議員として始めたことは、かつての採択された請願・陳情の洗い出し、そして実現状況の把握。未解決のものに対しての、実現に向けての徹底した追及、しつこいまでの質問の連続。一つひとつを解決に向け、議会は決して棚上げしないという姿勢を示しました。

平成25年議長就任時に行政に対し、採択した請願・陳情の実現状況を定例会毎に報告することを義務付けました。2年前から、広聴の役目を担う議会広報常任委員会委員長として「町民との意見交換会」の回数を増やしています。消防分団の方々とも話し合いをし、分団員の処遇改善に取り組んでいます。

町民の方々との意見交換は大切です。かなざきひさは会派として出前フォーラムを開催しています。



3月22日に66回目を開催し、今後も続けてまいります。皆さま、ぜひご参加ください。

支持者を集めての町政報告会ではなく、広く広報して、どなたでも葉山町に関するご意見のある方々に参加していただき、ご要望を伺っています。そして、それらを参考にして、議会で発言しております。参加者のご意見が議会の意見となり、行政を動かした事例は多くあります。

1人の人の考えがまちづくりを変える。そのことが町民全体の福祉向上につながる。その橋渡しをするのがかなざきひさの使命と思って議員活動が続けてきました。未来に向かって、さらに住みよい上山口へ、皆さまとご一緒させてください。

皆さまのお役に立ち、葉山町を住み良い町にすることに喜びを感じています。  
皆さまの想いの実現のために20年間の経験を活かし、  
すばやくぬかりのない対応ができます。一緒にまちづくりをいたしましょう！



# Q 住みよい町作りってどんな事？

## 金崎ひさが取り組んできたこと

•**タクシー券交付事業**・・・陳情の洗い出しから民意を知り、実現させました。始めは1回に1枚の使用でした。しかし、その後、上山口にお住まいの方から提言があり、1回に数枚使用できるように改善をさせました。

•**JR逗子駅のバリアフリー化**・・・エスカレーター・エレベーターの設置を求める運動があり、署名活動をしていましたが、一人の方から、予算のかからない方法として、下り電車の1番線乗り入れの増便をして欲しいとの要望がありました。JR逗子駅駅長と折衝を重ね、平成13年6月16日に私が要望書を提出しました。当時4便/日でしたが、徐々に増え、バリアフリー化した現在でも12便/日になっています。

•**渋滞緩和**・・・葉山大道・新逗子駅前など渋滞緩和のため、青信号の時間操作をお願いしました。きっかけは上山口の方からの一言でした。

•**避難所の耐震化**・・・避難所となる各小中学校体育館の耐震化を指摘しました。30年度で6校全ての耐震化が完了しました。

•**一泊二日の避難訓練**・・・平成15年から私が提案を続け、実現したものです。よって、第1回は上山口小学校体育館で開催されました。

•**ごみ問題**・・・資源物の分別収集などさまざまな改善をしてきました。今後は高齢化社会に対応するため、資源ステーションを廃止して、全てを戸別収集にしたいと思っています。

•**中学生バス通学費助成**・・・補助額も少なく、使い勝手の悪いものでしたので、地域の問題として改善させました。全額補助を目指しています。

一枚のタクシー券ではどこにも行かれないでしょ。

一番線に列車が着くと、なんかラッキーな気がする。そんな、逗子葉山あるある。

朝の渋滞は、イライラの原因。数秒単位で調整しました。

311の時、小学校の体育館に避難した方々たくさんいました。いつでも、防災意識は忘れないようにしたいですね。

雨の日や、坂道の多い地区はお年寄りにとってはゴミを持っての移動は危ないですね。

全額補助になってくれたら、家計も助かります！

## <まだ残されている上山口地域の問題点>

### 上山口地区での認可保育園の開設許可がない

町は約2億円の予算化をしていますが、市街化調整区域という理由でなかなか県から許可が下りません。市街化調整区域では何故だめなのか。納得がいきません。葉山町議会から県に要望書を提出しておりますので、実現に向け、訴えを続けなければなりません。

### 高齢者所帯の増加に伴う対策

上山口地区は811世帯のうち、独居及び見守りの必要な所帯が150世帯あります。また、高齢化率は39%となっています。これは他地区と比べて、割合が高く、対応が必要です。私は上山口福祉活動推進委員会(地区社協)の副委員長として、今後も「見守り活動及び声掛け運動」を推進して参ります。また、入所などで空き家が増加しております。町として、更なる空き家対策の推進が必要です。

### 町道などの補修

様々な要望が届きましたが、まだ、未解決の部分も多々あります。これからも、同じ地域に共に住んでいる者として、改善のため、担当者との話し合いを続けます。

### 上山口小学校旧校舎の今後

老朽化のため、31年度末で、教育支援センターなどが移転し、閉鎖となります。しかし、その後の計画が全く示されていません。行政は「みんなの公共施設未来プロジェクト推進事業」の中で、地域の方々と協働で、この扱いを考えるべきです。今後の大きな課題として捉えています。